

窪田委員（自民議連）

平成30年3月8日

教育長答弁実録  
(教育委員会)

(問) 新たな大学入学共通テストへの対応について

教育委員会が進めている「学びの変革」が、現時点で、この新しい入試にどこまで対応できていると認識しているのか、また、県立高校において、受験対策としての記述式問題への対策を、今後どのように対応しようと考えているのか、併せて教育長の所見を伺う。

(答)

大学入学共通テストは、高校教育を通じて、大学教育の基礎となる知識・技能及び思考力・判断力・表現力がどの程度身に付いたかを問うことをねらいとして出題をされると聞いております。

本県では、平成26年度に策定をいたしました「広島版『学びの変革』アクション・プラン」に基づきまして、平成27年度から各学校で「主体的な学び」を促す教育活動の取組を進め、知識・技能の習得に加え、思考力・判断力・表現力も育成しているところであり、この取組は、まさに、平成32年度から実施されます大学入学共通テストのねらいと合致するものと考えております。

教育委員会といたしましては、本県において、平成30年度には「学びの変革」の全県展開をすることとしており、この取組をさらに充実させることで、大学入学共通テストにも十分に対応できるものと考えております。